



“源溪山だより”

<https://chouanji.p-kit.com/>

令和8年8月②

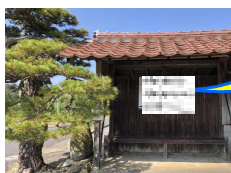
住職 恩田仁志 gen-chouanji@aka2.gmobbb.jp



◆感じよう、そして行動しよう

平和の原点は
ひと
人間の痛みがわかる
心を持つこと

長崎平和宣言より



お盆には、先の大戦で戦病死された諸英霊合同御位牌にお参りいただいた方が幾人もありました。子や孫にその中の戒名を指し示している方も。



掲示板の言葉は、9日に開催された長崎の平和式典での平和宣言のなかで紹介された被爆者の方のことばです。

「・・・、辛うじて死を免れた人々も、心身に深い傷を負い、放射線の影響でがんなどが発症することへの不安と恐怖を一生抱え続けています。・・・」

過日、当山にお参りになった95歳になる老翁が、まさに同じことをお話されたことを思い出します。

広島で被爆され、今は雲南市内でお住まいですが、被爆者であることを公表できず過ごしてきたそうです。永い間の心の苦しみは察して余りあります。



左に紹介した被爆者の方の言葉の後、宣言文は次のように続きます。

「・・・。相手の立場や苦しみに心を寄せ、分かり合おうと努力することは、対立や衝突を避けるための大事な一歩となります。それが人と人、国と国、それぞれの場面で信頼を育み友好関係を築く礎になるのです。・・・」

私たちが常に心がけるべき行いが、布施・愛語・利行・同事の四摂法です。

布施・・・惜しみなく施すこと

愛語・・・やさしく思いやりのある言葉がけ

利行・・・人々や社会のために励む

同事・・・他人の苦しみを共にし、楽しみを分け合い、人の身になって思いやる

人間（ひと）の痛みがわかる心とは、同事に他なりません。

毎年8月には広島及び長崎で、また6月には沖縄の平和宣言が読み上げられ、多くのことを感じ取ることができます。私たちは平和な世界の実現に向けた行動につなげていかねばなりません。

なお、9月に大東地区戦没者慰霊法要が当山で行われます。関係の皆様には案内が届くことと思います。ぜひご参集ください。

◆ご寄付(志納)感謝申し上げます

拝受したご志納について紹介します。宗教法人寄進台帳に記載し、仏具や法衣、伽藍充実などに使わせていただきます。ありがとうございました。

